

## 囲碁・将棋大会

市内の囲碁・将棋同好会の10月の例会結果です

### 福津市将棋同好会

今回は、1月13日(土)10:00から大和町公民館で開催します。

	1位	2位
A	北原 秀誠	村本 健次
B	松田 滝男	神尾 弘行
C	阿部 博文	工藤 幸夫
D	吉村 友行	出水平八郎
E	高尾 寿紀	仲上 徹志
F	箱島 孝	花田 俊一

連 村上 良明 ☎080・3973・8932

### 福津市囲碁会

今回は、1月14日(日)総会開催のため9:30受付締めで、市中央公民館和室で開催します。

	1位	2位
1	大野 政嗣	今丸 眞
2	松尾 正久	田中 英則
3	松本 正美	満生 忠雄
4	小田 邦彦	藤井 修
5	安田 礼一	桜井 峰治
6	岡田 和憲	本畑 通明
7	玉井 國雄	春藤 哲夫

連 井本 雅文 ☎090・9796・1099

紙面の都合上、上位者のみの掲載です。

### 福津市実年囲碁会

今回は、1月16日(火)、1月30日(火)10:00受付締め切りで、市中央公民館和室で開催します。

	1位	2位
1	福田 豊	有山 伸司
2	今泉 武志	田中 英則
3	的野 信行	牛垣 徹
4	阿部 学	井本 雅文
5	柴田 繁男	林田 健介
6	能美 一丸	上別府辰弘
7	森北 新吉	桜井 峰治
8	西岡 幸治	高島 正憲
9	豊川 隼智	本畑 道明
10	城野 正雄	田中 敏一
11	仮屋 博昭	堺 高之
	中島 賢明	竹石 和徳

連 満生 忠雄 ☎43・2420

### 津屋崎囲碁同好会

今回は、1月28日(日)9:30から福津市文化会館で開催します。

	1位	2位
A	今丸 眞	猪俣 征雄
B	藤井 修	永島 和美
C	藤井 義孝	竹山 晃

連 永島 和美 ☎52・5610

(敬称略)

# 地域の日

●市郷育推進課 ☎62・5078

市では、奇数月の第3土曜・日曜日を「地域の日」と定めています。あなたも地域活動に参加しませんか。

## 地域の歴史に触れる ふくつ散歩



▲六百俵之碑は宮地嶽神社にあります

郷育カレッジの「ふくつ散歩」は郷づくり推進協議会の皆さんが地域を紹介する人気シリーズ。みやじ編では、立派な資料冊子が配布され、地域で生息する鳥の紹介がありました。バスに乗り、江戸時代に不作でも年貢をきちんと納めたことを藩主に表彰された六百俵之碑や宮地嶽の夕陽風景時計、松林、蒙古戦没者の供養塔などを丁寧な説明を聞きながら散策しました。

# あじさいロード

[地域婦人会だより]

このコーナーでは、地域婦人会の活動を紹介します。

新春のつどい「うたごえ喫茶」へのお誘い——市地域婦人会長 志満千代子

市地域婦人会は、赤十字奉仕団や女性防火クラブなどで、各種ボランティア活動を行っています。新しい年を迎えるに当たり、日頃の活動報告を兼ねて、新春のつどい「うたごえ喫茶」を次のとおり計画しました。

唱歌やフォークソング、演歌などの懐かしい曲を中心に、みんなで一緒に歌ったり、おしゃべりをしたりしながら、ゆったりと流れる時間の中に身を置いてみるのもいいものです。

宗像市在住のソプラノ歌手・リキちゃんをゲストに迎え、伴奏や独唱を

していただきます。

老若男女、歌の得手不得手を問いません。お菓子や飲み物を準備してお待ちしています。お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

日時 平成30年1月29日(月)午後1時30分～午後3時

場所 大和町公民館

費用 100円

定員 先着50人

受付期限 平成30年1月15日(月)

受付、問い合わせ 志満 ☎43・1189

# アンビシャス広場

●市郷育推進課 ☎62・5078



アンビシャス広場とは、子どもたちが放課後や休日に地域で安心して立ち寄りことのできる「居場所」です。

## 神興アンビシャス広場の活動



▲くるくる回しながらじっくり焼くよ

神興アンビシャス広場では、わかたけ広場の炊飯場で、火おこし体験活動をしました。集めた小枝に火がおこると、歓声が上がりました。自分でパン生地をこねて竹に巻きつけた竹パンや芋、マシユマロを焼きました。豚汁も作り、みんな「おいしい」と喜んで食べました。お父さんの参加も多く、親子の触れ合いもできました。火のおこし方や使い方、後始末など、子どもたちはたくさん学び、遊んで、笑顔いっぱい充実した楽しい活動となりました。

# 心の歌

市内の愛好会のかたの作品です。一般投稿の締め切りは、前月15日です。

受付 市中央公民館 ☎43・2100 FAX 43・2868

### 川柳「虹の空」

人間の図かん見ているミイラ達  
光の道天気予報が気にかかる  
叱られて一番星と帰る道  
栗ひとつ落ちていた朝の玄関  
年の瀬に思いもかけず実る恋  
残り香で妄想広げドア閉まる  
連山にうす雲下りて秋を詠む  
曖昧を赦せないまま五十年  
通勤の寝息にそっと肩を貸す  
お転婆にしなやか足して娘は嫁ぐ  
わが想い君のハートにキックオフ  
善し悪しの意見は言わず席を立つ  
辻褄を合わせてくれる神がいる  
初物の味見こっそり土瓶蒸し  
喧嘩した友が一番好きになる  
太陽の方へ自由に曲がる首  
叱られて今日もスマホに逃げて  
一番の風を味方に突っ走る  
青い鳥逃がした空が果てしない

【わたつみ短歌会詠草】  
痛むひびに葉塗りつつ感謝する  
九十年も歩きし足に  
児斑あるお尻をあげて這い回る  
曾孫よ永く健やかであれ  
秋ふかし散り残りたる紅葉の  
中に女滝は音たてずあり

【一般投稿】  
旧友へ返したきものあり末の秋  
道筋の行き着きたるや銀杏黄葉  
垣根越し熟柿気になる散歩道  
柿一つ落して行ける鳥かな  
もくせいのはこぶかおりによいしれる  
苦虫を噛み潰すとはどんな虫  
鉢巻の八十の爺かや注連作  
時偶のカフェ老境を語り合う  
木犀や雑木盆栽金色に  
『おいでやす』招かれ入るや芒原  
鷹取の岩を割りさく山紅葉  
棟下に師走匂わす吊し柿  
病葉に残す未練の秋更けて  
在自山の星ヶ丘団地に住みてより  
三十余年が過ぎて古希越ゆ  
吾が命護りし妻の五十年  
共に八十路を歩く日近し  
草刈り機唸る音聞き見に行けば  
野菊の群れの無残なりけり  
幼子を両手に抱え若い父  
忘れないうでね胸の温かさ  
古里の秋の夕べの淋しけれ  
父母亡き後も幾度か通いし  
柳散りまた芽吹く日の情熱や  
くすぶりたるを隠しても生く

島崎 渚  
富田 浮風  
錢花 治代  
鳥崎 渚  
山形 四郎  
野部 フクヨ  
北富 れい子  
宮本 ちどり  
下釜 京  
小林 ふみ香  
実松 海子  
百武 忠  
山本 秀子  
安井 國治  
井上 弘道  
空谷 裕昭  
久保 山  
榎根 わ子  
中村 明美  
村山 穂  
小三 藤本  
藤本 心  
小三 藤本  
村山 明美  
中村 穂  
榎根 わ子  
久保 山  
空谷 裕昭  
井上 弘道  
安井 國治  
山本 秀子  
百武 忠  
実松 海子  
小林 ふみ香  
下釜 京  
宮本 ちどり  
柳田 涼子  
水谷 そう美  
中山 やすこ  
河内 やすこ  
長井 すみ子

投稿する場合、氏名と作品の常用漢字以外等には、必ず振り仮名をふってください。